

## 【事例⑨】

### 常滑武豊衛生組合 クリーンセンター常武

・常滑市、武豊町(人口:約10万人)のごみ処理を実施。



#### ★小型家電等の回収メリットは？

- ①再資源化と国内循環の促進
- ②焼却ごみの減量化
- ③最終処分地への持ち込みの減量化
- ④有価で売却することによる収入の増加

#### ★小型家電等回収のきっかけは？

①中部経済産業局からの提案、中部経済産業局主催の事例発表会に参加したことを受け、平成23年度から実施。

②平成23年4月～9月までを試行期間とし、10月から本格実施を予定。

#### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

・コンセント若しくは電池・バッテリーで動く電化製品(家電リサイクル法の対象品目を除く。)

#### ★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

・平成23年4月の1カ月(実質2週間)で約2.8トン。

#### ★小型家電等はどのように選別しているの？

・住民がクリーンセンターに持ち込んだ不燃ごみの中からクリーンセンター委託職員が、回収業者のコンテナに選別して投入。  
・週1度程度、業者に引き渡し(約1.5トン/回)



#### ★小型家電等の売却価格は？

・1円/kgで売却。

## (株)アビツ

- ・所在地:愛知県名古屋市長
- ・資本金:2億7000万円(東証1部上場USSグループ)
- ・従業員:165名



#### ★小型家電等の解体・破砕処理の内容は？

①搬入された小型家電は事前選別にて電子基板等に含まれる貴金属の含有量により高品位と低品位に選別。

②高品位材料は手分解を行い、基板・非鉄・鉄・その他に分別されそれぞれ破砕して各メーカーへ売却。

③低品位材料は粗破砕を行い鉄を除去したあとで篩いによりサイジングを行い渦電流選別機にてアルミを除去後、金属探知機選別機によりプラスチックと金属含有片とを選別し、金属含有片は細破砕して鉱山会社へ売却。



#### ★小型家電等をどのように処理したら有価売却できるようになるのか？

・回収した対象物を売却物の価格を見極め手間をかける部分と手間をかけずに機械加工する部分とを分けることによりいい物はより高く、悪いものは最低限売却できるものにしてトータルの売却価格で小型家電全般を資源循環の環に乗せることができる。

・機械による加工は最短で行い、回収の目的物を明確にすることにより純度の高い資源を回収し、必要以上の破砕を避け外殻のプラスチックを回収することにより、より付加価値を上げることができる。



#### ★処理した金属等の売却先は？

- ・鉄は鉄鋼メーカーへ売却
- ・アルミは2次合金メーカーへ売却
- ・非鉄金属は非鉄製錬メーカーへ売却
- ・基板等の貴金属含有滓は各鉱山会社へ売却
- ・プラスチックは燃料と再生材に分別して主にPPIは再生メーカーへ売却、燃料は鉄鋼還元剤として鉄鋼メーカーへ売却

### ■問い合わせ先

常滑武豊衛生組合クリーンセンター  
株式会社 アビツ 金属プラスチックリサイクル事業部

電話0569-72-0530  
電話052-619-6600

## 【事例⑩】

### 砺波市

- ・人口は、約5万人
- ・チューリップの生産、散居村



#### ★小型家電等の回収メリットは？

- ①ごみの減量化(最終処分場の延命化等)
- ②希少資源(レアメタル等)の循環活用

#### ★小型家電等の回収のきっかけは？

・リサイクル事業者からの提案があり、砺波市でどのようなことができるか地域住民の方と検討し、平成22年5月から本格実施した。



#### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・50cm角以下で、重さ20kg以下の電気、電池で動く使用済みの小型家電  
(家電リサイクル法対象品目及びパソコンは除く)



#### ★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

- ・平成22年度(5月～3月)は16トン/年

#### ★小型家電等はどのように選別しているの？

- ・各地区の資源ごみステーションで、地域住民の方に選別回収していただいている。

#### ★小型家電等の売却価格は？

- ・入札により10円/kgで売却。

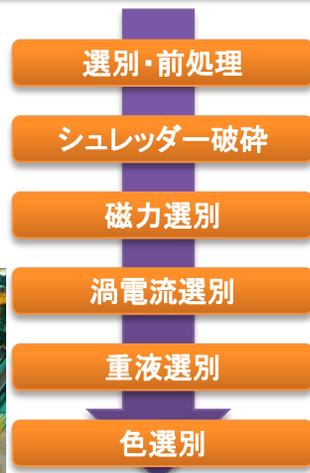
### ハリタ金属(株)

- ・所在地: 富山県高岡市
- ・資本金: 5,000万円
- ・従業員: 270名



#### ★小型家電等の処理の内容は？

- ・自社施設で破砕・選別をし、鉄、非鉄等各種金属類、プラスチック素材など素材別に抽出。
- ・特に金属系は、鉄、アルミだけでなく、金、銀、銅の貴金属、レアメタルの選別・抽出も実施。



#### ★どうして小型家電等を取り扱うの？

- ・環境制約、資源制約が高まる中、廃棄物の徹底した資源化による廃棄物リサイクル処理の全体最適化の視点は重要であり、また使用済小型家電等に含まれるビジネスポテンシャルも高く、地域の持続可能な社会構築につながるものと考えたから。

#### ★また、どうして有価で引き取れるの？

- ・使用済み小型家電は様々な資源で製造されており、金属だけでなくプラスチックや貴金属まで総合的な視点でリサイクル技術を確認したため。
- ・行政との連携・協働体制により回収効率が上がる地域回収システムが確立できたこと。
- ・使用済み小型家電の対象品目と大きさ制限がないため、回収重量が増え、そのためBOX設置を複数化、大型化が可能になり回収効率、運搬効率が良くなったこと。



#### ★抽出した金属等のゆくえは？

- ・鉄は国内製鉄メーカーに売却している。
- ・非鉄金属は選別し資源別に国内非鉄精錬メーカーに売却し、アルミはハリタ金属アルミ溶解製造工場でのリサイクルしている。
- ・貴金属、レアメタルは抽出後、国内精錬に売却。

#### ■問い合わせ先

砺波市 福祉市民部 生活環境課 電話(代表):0763-33-1111  
ハリタ金属株式会社 統括企画部 電話:0766-64-3516

## 【事例⑪-1】

### 富山市

・人口は、約42万人  
・「くすりのまち」として有名ですが、近年は立山連峰や「越中おわら風の盆」といった観光資源を生かした、観光産業の発展にも取り組んでいます。



#### ★小型家電等の回収メリットは？

- ① 金属等資源物の再資源化の促進
- ② 最終処分場の埋め立て量の減量化
- ③ 不燃ごみである小型廃家電の排出機会の拡大

#### ★小型家電等の回収のきっかけは？

・不燃物の資源化が不十分であるとの問題意識を持つ中で、市民から無料回収拠点に関する不安な声が寄せられ始めた時期に、富山県から提案があったもので、資源物ステーションでの相乗効果を期待しモデル実施したものの。

#### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

・1人で持ち運び可能な小型電化製品全般(家電リサイクル法の対象品目やパソコン及び事業系廃棄物を除く)

#### ★その回収量は？

・平成22年10月から23年3月までの6ヶ月間で約5トン。



#### ★小型家電等はどのように回収しているの？

・土曜・日曜・祝日の午前9時から午後3時まで開設している資源物ステーション(環境センター)で回収している。

#### ★小型家電等の売却価格は？

- ・21円/kg(平成22年度)で売却。
- ・価格は入札により決定。
- ・入札要件として、資源化率90%以上に定めている。

### 三豊工業(株)



- ・本社所在地 : 富山市
- ・資本金 : 1,000万円
- ・従業員数 : 55名

#### ★小型家電等の処理の内容は？

平成22年12月28日と平成23年3月31日の2回に分けて引取りを行った

- ① 1回目の引取りは、データ採集の意味合いもあり、全てを手作業で解体した。
- ② 2回目は、前回採集したデータをもとに、小型家電を高品位原料と低品位原料に区別し、処理コストを考慮して選別方法及び回収ターゲットを変えた。
- ③ 貴金属や非鉄金属を多く含む部位を手作業を含む精緻な分解方法で回収し、低品位原料及び低品位部位はコストをかけずに処理を行うこととした。使用した設備は、破砕機、マグネット、磁力選別機、風力選別機など。

#### ★どうして小型家電等を取り扱うの？

・貴重な資源を有するであろう小型家電のリサイクル業務に寄与したかった。(海外への流出を食い止めたい)

#### ★また、どうして有価で引き取れるの？

・「有価で引き取れる」ようにしないと、小型家電のリサイクルが定着しないと考え、「有価で回収しても採算が取れるようにするにはどうすればよいか」を考えた。  
・回収した資源の売価を上げてそれ以上にコストが発生したのでは採算がとれない。回収の対象物と売上金属、そしてコストのバランスを見ながら処理をおこなうことに取り組んだ。

#### ★抽出した金属等のゆくえは？

- ・鉄は製鋼メーカーへ売却
- ・アルミは自社の溶解炉へ
- ・非鉄金属、貴金属は精錬メーカーへ売却

#### ■問い合わせ先

富山市 環境部 環境センター管理課  
三豊工業株式会社

電話(直通):076-429-5017  
電話:076-451-6100

## 【事例⑪-2】

### 富山市

・人口は、約42万人  
・「くすりのまち」として有名ですが、近年は立山連峰や「越中おわら風の盆」といった観光資源を生かした、観光産業の発展にも取り組んでいます。



#### ★小型家電等の回収メリットは？

- ①金属等資源物の再資源化の促進
- ②最終処分場の埋め立て量の減量化
- ③不燃ごみである小型廃家電の排出機会の拡大

#### ★小型家電等の回収のきっかけは？

・不燃物の資源化が不十分であるとの問題意識を持つ中で、市民から無料回収拠点に関する不安な声が寄せられ始めた時期に、富山県から提案があったもので、資源物ステーションでの相乗効果を期待しモデル実施したものの。

#### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

・1人で持ち運び可能な小型電化製品全般(家電リサイクル法の対象品目やパソコン及び事業系廃棄物を除く)

#### ★小型家電等はどのように回収しているの？

・土曜・日曜・祝日の午前9時から午後3時まで開設している資源物ステーション(環境センター)で回収している。



#### ★小型家電等の売却価格は？

- ・11.6円/kg(平成23年度)で売却。
- ・価格は入札により決定。
- ・入札要件として、資源化率90%以上に定めている。

### ハリタ金属(株)

- ・所在地: 富山県高岡市
- ・資本金: 5,000万円
- ・従業員: 270名



#### ★小型家電等の処理の内容は？

・自社施設で破砕・選別をし、鉄、非鉄等各種金属類、プラスチック素材など素材別に抽出。  
・特に金属系は、鉄、アルミだけでなく、金、銀、銅の貴金属、レアメタルの選別・抽出も実施。



選別・前処理

シュレッダー破砕

磁力選別

渦電流選別

重液選別

色選別

#### ★どうして小型家電等を取り扱うの？

・環境制約、資源制約が高まる中、廃棄物の徹底した資源化による廃棄物リサイクル処理の全体最適化の視点は重要であり、また使用済小型家電等に含まれるビジネスポテンシャルも高く、地域の持続可能な社会構築につながるものと考えたから。

#### ★また、どうして有価で引き取れるの？

- ・使用済み小型家電は様々な資源で製造されており、金属だけでなくプラスチックや貴金属まで総合的な視点でリサイクル技術を確立したため。
- ・行政との連携・協働体制により回収効率が上がる地域回収システムが確立できたこと。
- ・使用済み小型家電の対象品目と大きさ制限がないため、回収重量が増え、そのためBOX設置を複数化、大型化が可能になり回収効率、運搬効率が良くなったこと。



#### ★抽出した金属等のゆくえは？

- ・鉄は国内製鉄メーカーに売却している。
- ・非鉄金属は選別し資源別に国内非鉄精錬メーカーに売却し、アルミはハリタ金属アルミ溶解製造工場でリサイクルしている。
- ・貴金属、レアメタルは抽出後、国内精錬に売却。

#### ■問い合わせ先

富山市 環境部 環境センター管理課 電話(直通):076-429-5017  
ハリタ金属株式会社 統括企画部 電話:0766-64-3516

## 【事例⑫】

### 豊田市

- ・人口は、約42万人
- ・中部経済圏の中心である名古屋  
市から25キロメートルの距離
- ・自動車関連企業が集積



#### ★小型家電等の回収メリットは？

- ①廃棄物から循環資源への転換（回収した小型家電は“希少金属の回収のため有価物”として売却）
- ②環境負荷の低減（ガス化溶融炉における飛灰中の金属（銅など）の含有量低減対策）
- ③キレート剤の削減（約4千万円/年）



#### ★小型家電等回収のきっかけは？

- ①平成21年度「使用済小型家電からのレアメタルリサイクルモデル事業」に応募したが、不採択となったことから、市でできる範囲を試行として実施。
- ②平成22年10月から本格実施に移行し、小型家電を含む電化製品を毎月6t程度をピックアップ。



#### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・金属ごみ中の電化製品全般（家電リサイクル法の対象品目を除く）及び電線

#### ★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

- ・平成21年11月から平成23年3月までのピックアップ実績で、計103トン。そのうち小電（手解体量）は約59トン。

#### ★小型家電等はどのように選別しているの？

- ・ごみステーションから回収し、委託業者に集められた金属ごみの中から委託業者がピックアップを実施。

#### ★小型家電等の売却価格は？

- ・0.5円/kgで実施



### トヨキン(株)

- ・所在地：愛知県豊田市
- ・資本金：9877万円
- ・従業員：236名



#### ★小型家電等の解体・破砕処理の内容は？

- ①豊田市が回収した金属ごみから小型家電を手選別し、手解体向けとプラント処理向けに分別。



- ②手解体のラインでは、小型家電の種類ごとに分けて、基盤を抜き取る。

- ③プラント向けは、シュレッダー破砕処理し、鉄・非鉄金属・シュレッダーダストの3つに分別。分別品は、製鋼メーカー・非鉄製錬メーカー売却、豊田市返却。

#### ★小型家電等をどのように処理したら有価売却できるようになるのか？

- ①小型家電から手解体・手選別により基盤（金、銀、銅、プラチナ、パラジウム等を含む）を抜き取る。



- ②このほか、電線類・アルミ・銅・モーター・電池類の選別を行うことで、有価売却が可能となる。

- ③小型家電をすべて手分解するのではなく、家電ごとに含有されるレアメタル等の量を考えて、効率の良い解体をすることが重要。

- ④解体及び選別を高齢者・障がい者で実施することで、雇用拡大等にもつながる。

#### ★処理した金属等の売却先は？

- ・鉄は製鋼メーカーへ売却
- ・アルミは製錬メーカーへ売却
- ・基盤は製錬メーカーへ売却
- ・残渣（ダスト）は豊田市に返却

#### ■問合せ先

豊田市 環境部 ごみ減量推進課  
トヨキン株式会社 営業部

電話：0565-71-3001  
電話：0565-28-2222

## 【事例⑬】

### 名護市

- ・人口は、約6万人
- ・那覇空港から車で40分
- ・沖縄県の約1割の面積を持ち北部、西部、南部で海に面する。



#### ★小型家電等の回収メリットは？

- ・最終処分場の削減が可能。小型家電以外も含め、徹底した分別、再資源化を行うことで、不燃ごみ全体の最終処分量を97%削減することに成功。
- ・コストの削減。それまでの逆有償処理を有価売却に変えることで財政負担を軽減。
- ・資源の有効利用。循環型社会構築の意識改革。

#### ★小型家電等回収のきっかけは？

- ・最終処分場の残余年数が1年を切る予定だったため。
- ・ごみの回収体制、回収システム、費用回収方法を抜本的に見直すとともに、可能な限りリサイクルすることで市民の環境意識向上を図った。

#### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・資源化している回収対象品目はコードの付いている電気・電子機器を回収。他に金属くず、紙、ビン、缶、電池や蛍光灯などの危険物（逆有償）なども分別して回収。



#### ★小型家電等の回収量はおおよそどのくらい？

- ・1ヶ月あたり5トン程度。ごみ収集区分に小型家電を収集する為の分別区分を設けている。

#### ★小型家電等はどのように選別・回収しているの？

- ・コードの付いている電気・電子機器ごみ収集区分を設け、指定日にパッカー車で収集。
- ・集めた電気・電子機器ごみを一時市の保管場所に貯蓄し、コンテナ1杯分貯まると業者に引取りに来てもらう。



#### ★小型家電等の売却価格は？

- ・入札により、5円/kgで売却

### (株)宮里

所在地:沖縄県名護市伊差川  
資本金:800万円  
従業員:16名



#### ★小型家電等の解体・破碎処理の内容は？

- ・コンテナにより運び込まれた小型家電は手分解により解体処理し分別。
- ・機械破碎した後、磁力選別、渦電流選別にて鉄、非鉄等に選別。



#### ★小型家電等を有価で引き取るきっかけは？

- ・行政が市民から回収した使用済み小型家電等を逆有償で処理委託していることを知り、資源化できることを提案した。

#### ★小型家電等をどのように処理したら有価売却できるようになるのか？

- ・小型家電等を解体分別することにより付加価値を上げ売却することが出来る。
- ・今後もいろいろな観点から資源化に向けて努力し効率の良い解体をめざし、行政、一般顧客と共に地域回収に力を入れていきたい。

#### ★処理した金属等の売却先は？

- ・鉄くずは問屋・商社等を通じて県内・県外の製鉄業者に売却。
- ・非鉄金属くずは問屋・商社等を通じて県外の精錬業者に売却。
- ・プラスチックは問屋を通じてペレット業者に売却。



#### ■問合せ先

名護市企画部環境対策課 電話 0980-52-0003 FAX 0980-52-1563

## 【事例⑭】

### 半田市

- ・人口は約12万人
- ・名古屋駅より電車で30分



#### ★小型家電等の回収メリットは？

①ごみの減量、②資源有効利用、③市民の環境意識向上

#### ★小型家電等の回収のきっかけは？

- ①小型家電回収が他自治体でも始まってきたため。
- ②回収事業者からの提案を受けて、平成21年度から実施。



#### ★再資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・クリーンセンターに持ち込まれた家庭系ごみ。事業系やステーション回収は対象外。

#### ★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

・2,825t/年(可燃ごみ含む全量)可燃ごみ除くと2,323t/年(他の資源含む)  
内不燃ごみ1,701t(家電込み) 内46t/年が小型家電

#### ★小型家電はどのように選別しているの？

・クリーンセンターに持込まれた不燃ごみの中から小型家電については持込者が指定場所(その他家電)に置く。回収用コンテナが一杯になった時点で、事業者へ連絡をし、売却・引き取りを実施。



### トーエイ(株)

- ・所在地:愛知県東浦町
- ・資本金:2,000万円
- ・従業員:250名



トーエイ株式会社

#### ★小型家電等の解体・破砕処理の内容は？

・有価性の高いプリント基板のあるものは手解体。

・手解体以外のものは機械破砕(随時メッシュの変換可能)



・機械破砕したものは振動フィーダーで搬送を行い、磁選機で鉄を回収し、それ以外のもの(アルミ・銅・プリント基板、非鉄金属など)は手作業にて選別を実施。

#### ★どうして小型家電等を有価で引き取れるの？

・既存の産業廃棄物収集運搬車両を使用し、今までの回収ノウハウを活用することで、コストを抑えているため。

・既存のシュレッダーを使用するため、高額な投資をすることなく必要がなかった。

・回収された有価物を専用設備を使用して、不純物を極力取り除き寿命を高めて売却している。

#### ★処理した金属等の売却先は？

・鉄は中間業者を通じ国内製鉄メーカーへ売却

・アルミは2次合金メーカーへ売却

・銅・プリント基板、非鉄金属(ミックスメタル)は精錬業者へ売却

・今後、プラスチックはサーマル原料として売却を予定。



#### ■問合せ先

半田市市民経済部クリーンセンター

電話:0569-23-3567

## 【事例⑮】

### 氷見市

- ・人口は、約5万人
- ・自然が豊かで、農業・漁業が盛んであり、これに伴う観光都市を目指している。



#### ★小型家電等の回収メリットは？

- ①廃棄物から貴金属等を循環資源として回収
- ②収集した小型家電は、有価物として売却

#### ★小型家電等の回収のきっかけは？

- ①ごみの減量化・資源化の推進
- ②リサイクル率の向上
- ③平成23年4月から収集(年2回)及び持ち込みの受付を実施。

#### ★資源化しようとしているゴミの回収対象範囲は？

- ・年2回収集するごみ(金属性粗大ごみ等)の品目に「リサイクルする小型家電等」を設定し収集を開始。



#### ★その回収量は？そのうち小型家電の割合はおおよそどのくらい？

- ・平成23年度から実施したため実績はないが、5月6日現在で3,230kgの回収量であった。

#### ★小型家電等はどのように選別しているの？

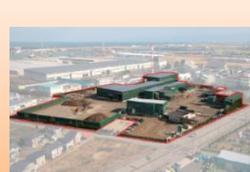
- ・収集運搬委託業者が、対象品目を保管場所へ収集運搬する。

#### ★小型家電等の売却価格は？

- ・8円/kgで売却

### ハリタ金属(株)

- ・所在地: 富山県高岡市
- ・資本金: 5,000万円
- ・従業員: 270名



#### ★小型家電等の処理の内容は？

- ・自社施設で破砕・選別をし、鉄、非鉄等各種金属類、プラスチック素材など素材別に抽出。
- ・特に金属系は、鉄、アルミだけでなく、金、銀、銅の貴金属、レアメタルの選別・抽出も実施。



選別・前処理

シュレッダー破砕

磁力選別

渦電流選別

重液選別

色選別

#### ★どうして小型家電等を取り扱うの？

- ・環境制約、資源制約が高まる中、廃棄物の徹底した資源化による廃棄物リサイクル処理の全体最適化の視点は重要であり、また使用済み小型家電等に含まれるビジネスポテンシャルも高く、地域の持続可能な社会構築につながるものと考えたから。

#### ★また、どうして有価で引き取れるの？

- ・使用済み小型家電は様々な資源で製造されており、金属だけでなくプラスチックや貴金属まで総合的な視点でリサイクル技術を確認したため。
- ・行政との連携・協働体制により回収効率が上がる地域回収システムが確立できたこと。
- ・使用済み小型家電の対象品目と大きさ制限がないため、回収重量が増え、そのためBOX設置を複数化、大型化が可能になり回収効率、運搬効率が良くなったこと。



#### ★抽出した金属等のゆくえは？

- ・鉄は国内製鉄メーカーに売却している。
- ・非鉄金属は選別し資源別に国内非鉄精錬メーカーに売却し、アルミはハリタ金属アルミ溶解製造工場でリサイクルしている。
- ・貴金属、レアメタルは抽出後、国内精錬に売却。

#### ■問い合わせ先

氷見市 市民部 環境課 電話(直通):0766-74-8082

ハリタ金属株式会社 統括企画部 電話:0766-64-3516

## 【事例⑬】

### 安来市

- ・人口は、約4万人
- ・安来市は島根県の東部、鳥取県との県境に位置し、面積は420.97km<sup>2</sup>です。



安来市キャラクター「あらエッサくん」

★金属類(小型家電含む)を分別収集し、非鉄、小型家電等に手選別し、売却するメリットは？

- ①ごみの減量化、②資源の有効利用、③処理費用の削減、④住民のリサイクル意識の高揚

★分別・収集した金属類から、小型家電等を手選別するようになったきっかけは？

希少金属の重要性が話題となり、将来的な需要、処理方法が確立されることを見込み、平成19年度から手選別を始めた。

★金属類からどのように手選別しているの？

・月に1回、分別収集した金属類をクリーンセンターに搬入し、小型家電、基盤、ゲーム機、携帯電話、非鉄類、鉄類等に手選別し、再資源化業者に売却  
※小型デジタル家電はボックス回収も実施)



★一般廃棄物の回収量は？そのうち小型家電等の回収実績はおおよそどのぐらい？

・平成22年度の一般廃棄物は10,965トン/年。そのうち、小型家電は27トン/年。うち、基盤・ゲーム機・携帯電話は、480kg/年。

★小型家電等(基盤等含む)の売却価格は？

・小型家電は8.4円/kg、基盤は99.75円/kg、ゲーム機は66.15円/kg、携帯電話は899.85円/kg。  
※運搬費を含む

★エコリッチ/Ecoとステーションとは？

・貴金属やブランド品、中古携帯、金券、化粧品等のリユースを行う「エコリッチ」に家庭から廃棄される小型家電や鉄くずや古紙、プラスチック等を回収する「資源回収コーナー」を併設したリユースとリサイクルの業界発のハイブリットショップ。

・現在、香川県内で7店が営業中で、フランチャイズオーナーを募集中。



＜安来市から基板・ゲーム機・携帯電話を買入れ＞

### (有)協同回収

- ・所在地: 香川県三豊市
- ・資本金: 1,000万円
- ・従業員: 70名



★小型家電を取り扱うようになったきっかけは？

・電子基板を金銀滓として売却するため、障害者の雇用を行い、電子機器等の手分解を始めたが、リーマンショック後、こうした取組が難しくなり、解体作業時間の短縮と低コスト化を図る新型の分離剥離再資源化装置を導入(障害者雇用は維持)。この際、物量の確保を図るため、小型家電も取り扱うようになった。

★小型家電の買入先と量、価格はどのぐらい？

・事業者(同業者含む)から225トン/月、自治体(集団回収含む)から10トン/月、一般消費者(エコリッチ含む)から15トン/月の計250トン/月の家電スクラップを買入れその内小型家電は60トン/月

・買入価格は、10~1,200円/kg程度(品目毎に査定)

★小型家電の解体・破碎、選別処理の内容は？

・新型の分離剥離再資源化装置で、解体・破碎し、基板くず、鉄部材、銅、ステンレス、アルミ、プラスチックなどに手選別



★抽出した金属等のゆくえは？

・国内大手製錬メーカー、銅製錬メーカー、ステンレスメーカー、大手アルミサッシメーカー、プラスチックリサイクルメーカーに売却

★その他の取り組みは？

・小型家電リサイクルを促進させる為、ノウハウを提供し、一連のシステムを全国へ普及させる活動を行っている。

### ■問い合わせ先

安来市 市民生活部 環境衛生課  
有限会社協同回収  
リサイクルショップ エコリッチ

電話 : 0854-23-3102  
電話 : 0875-83-5252  
電話 : 087-823-5353

■ 発行・編集

経済産業省商務情報政策局情報通信機器課 環境リサイクル室

電話:03-3501-1511(内線 3981~7)

03-3501-6944(直通)

産業技術環境局リサイクル推進課

電話:03-3501-1511(内線 3561)

03-3501-4978(直通)